

令和4年度加盟団体連携会議 資料

令和4年4月28日（木）

■ 令和4年度（公財）新潟県スポーツ協会の事業等について

資料1 事業計画及び予算について

資料2 総務課所管事業について

資料3 競技スポーツ課所管事業について

資料4 スポーツ推進課所管事業について

資料5 健康づくり・スポーツ医科学センター事業について



公益財団法人新潟県スポーツ協会

公益財団法人新潟県スポーツ協会 令和4年度事業計画及び予算

令和4年度加盟団体連携会議

令和4年4月28日

～令和４年度事業運営の基本方針～

I 「将来構想～今後１０年の展望～」の促進

重点項目である「競技力の向上、スポーツの普及、組織力強化、財政基盤強化、県立スポーツ施設整備」の着実な促進

II 新潟県の競技水準向上とスポーツの普及・振興

オリンピック等で活躍できる選手の輩出及び継続的な選手の発掘・育成

III 地域全体が連携・協働してスポーツを推進する仕組みの充実

総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の育成、スポーツによる地域活性化の促進

IV スポーツ・インテグリティの向上とスポーツ文化の発展

コンプライアンスの徹底やガバナンス強化等、クリーンでフェアなスポーツの推進及びスポーツ団体ガバナンスコードの遵守

V 指定管理事業の適切な執行

「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の適切な管理・運営と競技水準の向上及び健康づくりの増進

～令和4年度収支予算の概要～

Ⅰ 事業活動収支の部

1 事業活動収入

① 基本財産運用収入	1 千円 (	△ 1 千円)
② 特定資産運用収入	1 2, 5 1 1 千円 (	+ 3 4 1 千円)
③ 会費	1 4, 2 9 0 千円 (	△ 2 7 0 千円)
④ 登録料	4, 0 1 7 千円 (	+ 8 7 千円)
⑤ 県受託金	3 9 8, 9 2 4 千円 (	+ 3, 3 9 1 千円)
⑥ 県補助金	4, 4 2 3 千円 (	△ 7 0 4 千円)
⑦ JSPO受託金	1 7, 9 5 2 千円 (	+ 1 5, 9 7 3 千円)
⑧ JSPO交付金	6 4 5 千円 (	+ 3 7 千円)
⑨ 助成金	6, 8 9 2 千円 (	+ 4, 3 5 4 千円)
⑩ 利用料金収入	2 8, 2 0 7 千円 (	+ 6 千円)
⑪ 寄付金収入	7 6 0 千円 (	△ 4, 5 0 0 千円)
⑫ 負担金	5, 9 3 8 千円 (	△ 2 7 7 千円)
⑬ 賛助会員会費	2, 5 0 0 千円 (	± 0 円)
⑭ 協賛金収入	5, 5 0 0 千円 (	+ 5, 5 0 0 千円)
⑮ 雑収入	7, 5 5 8 千円 (	+ 9 4 8 千円)
合計	5 1 0, 1 1 8 千円 (	+ 2 4, 8 8 5 千円)

2 事業活動支出

① 競技力向上対策費	2 1 8, 1 1 7 千円 (△ 1, 9 8 4 千円)
② 国民体育大会事業費	1, 5 7 6 千円 (+ 2 0 4 千円)
③ 新潟スポーツチーム・マネジメント推進事業費	9, 0 8 6 千円 (+ 2, 6 4 0 千円)
④ スポーツ指導者養成等事業費	2, 0 9 5 千円 (△ 4 1 6 千円)
⑤ 広域スポーツセンター運営事業費	2 1, 6 4 3 千円 (+ 4, 0 4 7 千円)
⑥ 高等学校体育連盟助成金	2 9 0 千円 (+ 6 8 千円)
⑦ 交流人口拡大合宿等誘致推進事業	6, 0 5 0 千円 (+ 6, 0 5 0 千円)
⑧ 事業費支出	2 2 5, 5 7 4 千円 (+ 1 5, 8 9 1 千円)
⑨ 管理費支出	2 6, 0 2 5 千円 (+ 2, 7 7 8 千円)
⑩ その他活動支出	7 0 千円 (± 0 千円)
合計	5 1 0, 5 2 6 千円 (+ 2 9, 2 7 8 千円)
事業活動収支差	△ 4 0 8 千円 (△ 4, 0 9 3 千円)

II 投資活動収支の部

1 特定資産取崩収入	4, 9 3 8 千円 (+ 3, 1 4 6 千円)
2 特定資産取得支出	4, 5 3 0 千円 (△ 9 4 7 千円)
投資活動収支差額	4 0 8 千円 (4, 0 9 3 千円)

～令和４年度事業計画の概要～

Ⅰ 競技力向上対策事業の推進 (R4: 218,117千円 △1,984千円)

- 1 競技水準向上対策運営業務
- 2 競技水準向上対策事業
 - (1) 新潟スーパージュニア育成事業
 - ア 新潟ジュニア育成事業
 - イ 育成指導者配置事業
 - (2) 強化事業
 - ア 国体強化事業
 - イ 強化スタッフ支援事業
 - ウ 社会人・企業スポーツ指定強化事業
 - エ 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営
 - オ トップコーチ等招へい事業
 - カ コーディネーター配置事業
- 3 オリンピックアスリート夢チャレンジ事業

Ⅱ 国民体育大会関連事業・業務の推進 (R4: 1,576千円 + 204千円)

- 1 国民体育大会への本県選手団派遣
- 2 国体ユニフォーム購入補助事業
- 3 アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進 (R4: 9,086千円 + 2,640千円)

- 1 新潟スポーツムーブメント推進事業
 - (1) スポーツ・インテグリティ事業の推進
 - (2) ウェブサイトの運営
 - (3) 表彰の実施
 - (4) 加盟団体との連携事業
- 2 にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト (新規)
- 3 地域スポーツクラブ推進体制基盤整備事業 (新規)
- 4 日本スポーツマスターズへの参加

Ⅳ 公認スポーツ指導者の養成 (R4: 2,095千円 △416千円)

- 1 公認スポーツ指導者講習会の開催
- 2 スポーツ指導者研修会の開催

Ⅴ 広域スポーツセンターの運営等 (R4: 21,643千円 +4,047千円)

- 1 新潟県広域スポーツセンターの事業推進等
 - (1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
 - (2) スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施
 - (3) スポーツ情報の収集発信
- 2 幼児期からの運動習慣アップのための支援
- 3 クラブアドバイザー等配置事業（新規）

Ⅵ 高等学校体育連盟助成金 (R: 290千円 + 68千円)

VII 交流人口拡大合宿等誘致推進事業（新規）（R4 : + 6,050千円）

VIII スポーツ少年団の育成（R3 : 29,274千円 + 15,234）

IX 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営
（R3 : 182,409千円 + 1,119千円）

総務課 所管事業

（事業名は、令和4年度事業計画書抜粋）

A 公益事業

Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進

1 新潟スポーツムーブメント推進事業

- （1）スポーツ・インテグリティ事業の推進
- （2）本会ウェブサイト（ホームページ）の運営
- （3）表彰の実施
- （4）加盟団体との連携強化

C 法人事業

2 加盟団体との連携強化

スポーツ・インテグリティ事業の推進

○直執行事業として、5回開催予定

① 令和4年6月23日

テーマ・講師：未定

② 令和4年7月16日

テーマ：アンガーマネジメントがコーチと選手を救う

講師：渋谷 崇行 氏 一般社団法人スポーツフォーキッズジャパン代表

③ ④ ⑤ 未定

表彰の実施

1 目的

新潟県のスポーツの普及振興に功績顕著な者及び競技力向上に貢献した者を表彰する。

2 表彰及び表彰対象者

表彰名	対象者及び条件等	推薦団体
スポーツ栄光賞	・ オリンピック競技大会等で、3位以上の成績を収めた者及びその指導者	
スポーツ功労者賞	・ 長年にわたり、本県体育・スポーツの振興に寄与し、その功績が顕著な者 ・ <u>満 55 歳以上の者</u> ・ <u>加盟団体の役員として活動実績が 10 年以上ある者</u>	加盟団体

優秀指導者賞	・ 優秀競技者の育成に功労のあった者 ・ <u>国体正式競技</u>で優秀な成績を収めた競技者の育成指導に功績が顕著 ・ 原則、<u>10 年以上の活動実績がある者</u>	国体正式 競技団体
公認スポーツ指導者賞	・ (公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者として、<u>10 年以上継続して登録し、活動している者</u>	加盟団体
優秀競技者賞	・ 国体競技として実施される競技団体に所属する競技者 - ア 競技者として優秀な成績を収めた者 - イ 国際大会において優秀な成績を収めた者 - ウ 全国大会で優勝又はこれに準ずる成績を収めた者 但し、中学生は3位の入賞を認める	国体正式 競技団体

奨励競技者章	・ 国体競技以外の競技団体に所属する競技者及び全国高等学校定時制通信制体育大会に参加した競技者 ・ 優秀競技者賞ア～ウと同じ	競技団体 高等学校 体育連盟
特別賞	・ スポーツの向上発展に貢献し、その功績が極めて顕著なもの	

3 推薦締め切り

令和4年 10 月初旬（予定）

4 表彰式

令和4年 12 月 11 日 アートホテル新潟駅前

加盟団体との連携強化

○加盟団体連携会議

令和4年4月28日 オンラインで実施

○ゴルフ大会

令和4年7月25日 ヨネックスカントリークラブ

○表彰式

令和4年12月11日 アートホテル新潟駅前

○新年会

令和5年1月14日 ANA クラウンプラザホテル新潟

スポーツ安全保険

令和4年度から

- 新 Web 加入システムの導入
- 加入手続き、事故通知、保険金請求がスマホで可能
- 新規加入時に 200 名以上の加入がある場合、名簿の提出は不要

令和5年度から

- 加入手続の Web 一本化
紙での加入依頼書の廃止
- 加入依頼書受付業務の終了に伴い、新潟県支部は廃止

お願い

○スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞の遵守状況に関する自己説明の定期的な公表

➡年1回 各団体のウェブサイトで公表

○事業計画書及び収支予算書の報告

○事業報告書、財務諸表又は収支決算書及び直近の役員名簿の提出

競 技 ス ポ ー ツ 課 所 管 事 業

I. 競技水準の向上に関する事業

1. 新潟スーパージュニア育成事業

事業名	予算額	対象	内容
新潟ジュニア育成事業	41,883 千円	国体実施競技団体	○競技団体が、小・中学生のジュニア選手を対象として計画的・継続的な強化を行い、将来全国大会等で活躍できる競技力の養成やトップアスリートの育成を図る。
育成指導者配置事業	38,316 千円	国体実施競技団体	○優秀な実績を有する指導者を指導現場に配置することで、日常の強化活動の充実を図る。(R4 年度：水球、サッカー、バレーボール、トランポリン、フェンシング、ソフトテニス、柔道、スキー)

2. 強化事業

事業名	予算額	対象	内容
国体強化事業	70,020 千円	国体実施競技団体	○国体選手の強化活動を支援し、競技力の向上を図る。 ○前年度の全国大会等成績及び競技団体実施計画に基づき委託
強化スタッフ支援事業	2,871 千円	国体実施競技団体	○国体（北信越国体を含む）にコーチ、トレーナー等を派遣し、傷害予防やコンディショニング調整などを行うことで、競技力の向上を図る。
社会人・企業スポーツ指定強化事業	2,085 千円	企業クラブ 社会人クラブ	○社会人として競技スポーツに積極的に取り組む企業や団体の強化活動を支援し、社会人スポーツの強化を図る。 ○企業クラブ 6 団体、社会人クラブ 5 団体
新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営	413 千円		○社会人スポーツを推進するため、その事務局を担う。 ○社スポで協賛金（目標 1,500 千円）を募り、優秀選手の県内定着に向けたアスリートフォーラム等の事業を実施（IV. その他及び参考資料参照）
トップコーチ等招へい事業	2,000 千円	オリンピックアスリート活動支援対象者 国体実施競技団体	○豊富な知識と経験を有し、高度な技術や戦術等を指導・助言できる指導者を招へいし選手の育成と本県指導者の資質向上を図る。 ○オリンピックアスリート活動支援対象者 1,700 千円

			○国体実施競技対象者 300 千円
コーディネーター配置事業	5,510 千円		○国際大会や全国大会等に出場する優秀選手が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりを図る。

3. オリンピックアスリート夢チャレンジ事業

事業名	予算額	対象	内 容
オリンピックアスリート活動支援事業	22,859 千円	指定選手	○オリンピックに出場できる選手の輩出を目指し、強化指定選手の活動に対し支援を行い育成・強化を図る。

II. 公認スポーツ指導者の育成に関する事業

事業名	予算額	対象	内 容
コーチⅠ養成講習会	1,350 千円	18 歳以上	○地域のスポーツクラブや学校運動部活動等でのコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき安全で効果的な活動を提供する指導者の養成を図る。 ○共通科目 45h(NHK学園通信講座) 受講料 22,000 円 ○専門科目 20h以上(競技による) 受講料 15,400 円(別に教材費等必要な場合あり。) ○実施競技: 軟式野球、バドミントン、ソフトボール、水泳、山岳、ゲートボール ○開催要項等は後日HP掲載
スポーツ指導者研修会	543 千円	スポーツ指導者	○公認スポーツ指導者の更新研修として開催(一般指導者の受講可) ○開催日・会場: 令和5年2月 日(日) 新潟ユニゾンプラザ ○受講料 1,000 円 ○開催要項等は後日HP掲載 ○日本スポーツ協会又は中央競技団体が開催する研修会については、それぞれのHPに掲載予定

III. 国民体育大会への選手団派遣に関する事業

事業名	予算額	対象	内 容
県選手団の派遣		国体選手・監督等	○国民体育大会(北信越国体を含む)に本県を代表する選手を派遣 ○選手名簿は報道発表の他、HPで公開

ユニフォーム購入補助	1,254 千円	国体選手・監督	○県選手団ユニフォーム購入代金の一部を補助
国体帯同医師派遣	120 千円	スポーツドクター	○本部役員として国体に帯同する医師の謝礼
アンチ・ドーピング講習会	202 千円	国体選手等	○国体に参加する選手を対象にアンチ・ドーピング講習会を開催 ○市町村での開催要望があれば講師派遣

IV.

事業名	予算額	対象	内容
交流人口拡大合宿等誘致 推進事業（新規）	6,050 千円	競技団体	○スポーツを通じた交流人口の拡大と競技力向上を図るため、新たに県内の競技団体が他県から選手を招致して合宿や大会を開催する取り組みについて支援する。

V. その他事業

事業名	予算額	対象	内容
高等学校体育連盟助成金 事業	290 千円	県高等学校体育連盟	○高等学校に設置した自動販売機の売上の一部を県高体連に助成金として交付 ○市町村体育（スポーツ）協会の紹介によるものは、売上の一部を紹介先団体へ交付
にいがたアスリートキャ リアフォーラム	912 千円	企業及び選手	○他県における選手雇用と練習環境の整備等について事例を参考としながら、選手・企業相互の理解を深めることにより県内定着を図る。 ○年2回開催（11月・2月）

スポーツ推進課 所管事項

令和4年4月28日（木）

公益財団法人 新潟県スポーツ協会
スポーツ推進課長 澁谷 健一

スポーツ推進課の説明概要

本日の会議で特に**お伝え・お願い**したいこと

- 1 にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト始動
～スポーツ体験キャラバンへの運営参加を～ **【募集中】**
- 2 スポーツ・インテグリティの推進
～補助事業を活用し、各団体で研修実施を～ **【募集中】**
- 3 地域ミーティングの実施
～運営協力団体を募集 **【5月に募集開始予定】**
地域課題や部活動の地域移行等の検討機会に～
- 4 第3期スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施
～指定団体を募集 **【5月に募集開始予定】**
3年かけて地域活性化の仕組みづくりを～

スポーツ推進課が事務局等を担う組織

団体名又は事業	主な事業	R4のポイント
新潟県 スポーツ少年団	・大会、講習会等の開催 ・指導者の養成や資質向上など	・日本スポ少の「スポ少改革2022」、県スポ少の「スポ少らしさ」の検討及び実践に着手
新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	・総合型クラブ登録認証制度の運用 ・全国SCネットワーク等の関係事業推進	・令和4年度から全国制度の「登録・認証制度」が運用開始 ・本会との組織的関係性を強化
新潟県 スポーツ施設協会	・研修活動、資格取得促進 ・スポーツファシリティーズ保険加入促進など	・指定管理者等の加入を促進 ・県内で公認資格取得可能（隔年開催のためR4は未実施）
新潟県広域スポーツセンター	・地域スポーツ人材養成セミナー、スポーツと地域活性化の好循環創出事業など	・地域スポーツ人材養成セミナーは誰でも参加可能 ・本会加盟団体が応募や参加できる事業の活用促進
新潟県 ラジオ体操連盟	・ラジオ体操の普及、奨励	・連盟事務局ではないが普及活動等を実施（相談随時受付）

※日本スポーツ少年団「緊急対策プロジェクト報告書」（「スポーツ少年団改革プラン2022」）

<https://www.japan-sports.or.jp/club/tabid1022.html>



※新潟県スポーツ少年団「スポーツ少年団活動に関するアンケート調査結果」

<https://www.niigata-sports.or.jp/project/junior-sport-clubs/>

※総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 <https://www.japan-sports.or.jp/local/tabid1337.html>

主な所管事項

-  1 自主事業等（一部、県補助事業含む）
-  2 日本スポーツ協会（JSPPO）等の関連事業
-  3 新潟県委託事業
（広域スポーツセンター事業）
（幼児期からの運動習慣アップ支援事業）
-  4 スポーツ少年団事業

（例）子どもの運動・スポーツの普及とよりよい環境づくりに向けて

-  子どものスポーツ応援プロジェクト、指導者研修
-  アクティブ・チャイルド・プログラム、国庫補助事業
-  幼児期からの運動習慣アップ支援事業
-  青少年の健全育成の推進、大会等の見直し等

○人材（資格者等）
育成や資質向上の推進
○事業間の連携や新規事業企画
○子どもたちの参加
機会拡大 など

関係事業を連携させ効果的に実施

1 自主事業等

1 新潟スポーツムーブメント推進事業（抜粋）

新潟県のスポーツ文化の発展を促すため、スポーツ・インテグリティの確保を推進し、クリーンでフェア、安全で安心なスポーツ環境を整えるとともに、スポーツ情報の提供、表彰の実施、加盟団体との連携強化などを推進する。また、パートナー企業と連携して「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」を実施し、子どもたちが運動遊びやスポーツに親しむ環境づくりの充実を図るとともに、SDGsを推進する。

（1）スポーツ・インテグリティ事業の推進【R3～】

スポーツ・インテグリティを推進するための研修会を開催するとともに、加盟団体等が実施する研修事業に補助する。

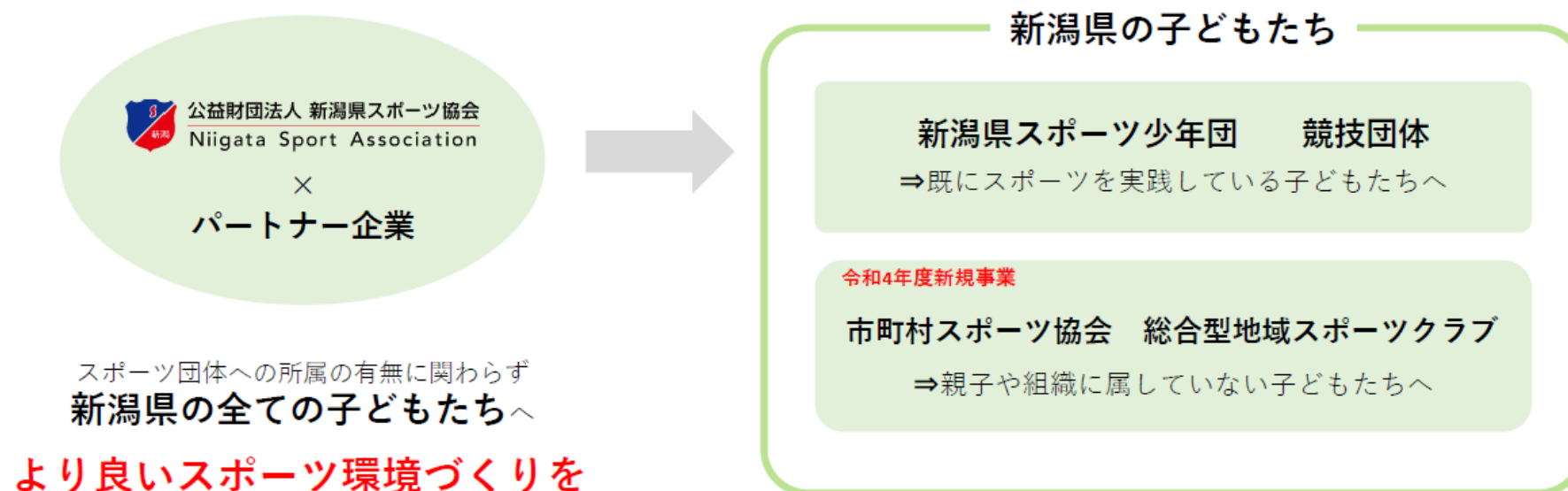
2 にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの実施（新規）

子どもたちの健やかな育成とスポーツの振興を図るため、パートナー企業や加盟団体等と連携し、スポーツ体験キャラバンなど、子どもたちに楽しい運動遊びやスポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツ少年団活動を支援する取組を実施する。また、プロジェクトを通じてSDGsの実践を推進する。

1 自主事業等

にいがた子どものスポーツ/応援プロジェクト

目的 スポーツ・運動機会の提供による
子どもたちの健やかな育成とスポーツの振興



1 自主事業等

にいがた子どもスポーツ応援プロジェクト プロジェクト背景

公益財団法人 新潟県スポーツ協会 Niigata Sport Association が抱える課題

- スポーツ・インテグリティの確保やスポーツの価値を広げるための活動の実践の必要性
- スポーツ少年団の財政健全化や活動活性化の必要性
- 「子供の運動遊び」に関するニーズの高さや地域スポーツの実態把握による対策の必要性

社会が抱える課題

- 少子化や運動をする子としない子の二極化の進展など子ども達のスポーツ環境の変化
- 新型コロナウイルス感染症による運動・スポーツ機会の減少
- R5からの休日の部活動の段階的な地域移行
- SDGsに対する取組み

 公益財団法人 新潟県スポーツ協会
Niigata Sport Association × パートナー企業



新たなパートナーシップの構築

新潟県の子どもたちのより良いスポーツ環境づくりへの新たな取り組み

1 自主事業等



国連広報センターでは「国連は、SDGsの17項目それぞれの達成に向けた課題に取り組む潜在的能力を備えた重要かつ強力なツールとして、スポーツがその役割を果たすことを期待しています。」と表明しています。

新潟県スポーツ協会でもパートナーや関係団体と連携してSDGsの推進を図って行きたいと考えており、「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」では、以下の開発目標に貢献します。



1 自主事業等



スポーツ体験キャラバン概要

- 基本的には下記内容をベースとし、必要に応じて追加していきます。
 - かけっこチャレンジ
 - スポーツ体験コーナー、運動遊びコーナー、障害者スポーツ体験コーナー
 - 健康・栄養紹介ブース

【実施期日・会場】（予定）※新型コロナウイルス感染症の影響によって、変更が生ずる場合があります。

新潟会場	調整中	新潟市内	10：00～15：00
長岡会場	7月23日（土）	長岡市みしま体育館	10：00～15：00
上越会場	9月18日（日）	上越市総合体育館	10：00～15：00
佐渡会場	11月6日（日）	佐渡市総合体育館	10：00～15：00

●スポーツ体験キャラバンのねらい

子どもたちに様々なスポーツを体験してもらい、運動・スポーツの楽しさを実感してもらうとともに、体験やふれあいを通じて、**より多くのスポーツ種目を子どもたち（保護者）にPR、普及する機会とすることもねらいとしています。**

これを機に、自らの競技への関心を高め、PRしたいと考えている競技団体は、ぜひご参加願います。（4会場のいずれか1つだけの運営参加でも結構です）

1 自主事業等

にいがた子どものスポーツ/応援プロジェクト

スポーツ体験キャラバン



競技団体等の
スポーツ団体



スポーツ体験
キャラバン



子どもたちの
健やかな育成
とスポーツの
振興



競技団体のメリット

- 子どもたちへの競技普及
- 競技の認知度向上
- SDGs への貢献



(イメージイラストと実施競技は関係ありません)

新潟県の子どもたち		
17 持続可能な社会の実現 (SDGs) にいがた子どものスポーツ 応援プロジェクト	2 食生活 バランスのとれた食生活の実践を支援する 【具体的な取り組み】 ・運動と栄養、食生活改善を学ぶ機会を確保	3 体力・健康 子ども達の体力低下を解消し、心身の健やかな成長を目指す 【具体的な取り組み】 ・ACP等による運動遊びの促進 ・大会等のスポーツ活動を支援
4 教育 専門性の高い指導内容や指導者の育成に注力する 【具体的な取り組み】 ・子どもの運動遊び、スポーツ指導者の資質向上 ・県民、保護者への啓発活動	10 社会参加 競技力に関わらずすべての人へスポーツ機会を提供する 【具体的な取り組み】 ・スポーツ体験キャラバンの実施 ・スポーツ団体への啓発及び活動支援	16 平和 あらゆる問題に向き合い、フェアなスポーツ環境を堅守する 【具体的な取り組み】 ・国際交流 ・スポーツインテグリティ教育

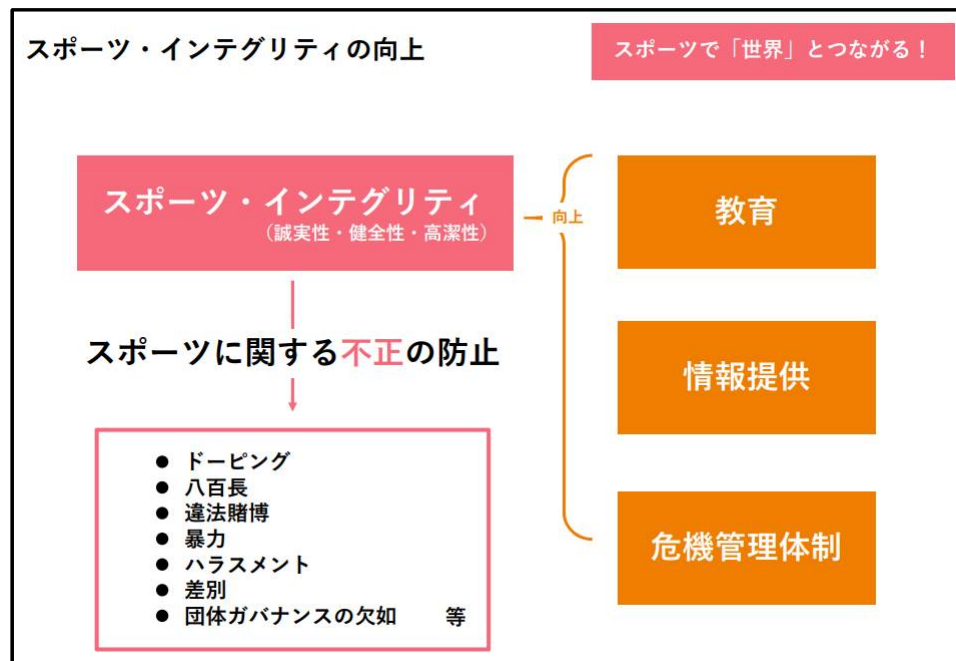
※一部取組予定の内容を含みます。また、今後更に拡充していく予定です。



公益財団法人 新潟県スポーツ協会
Niigata Sport Association

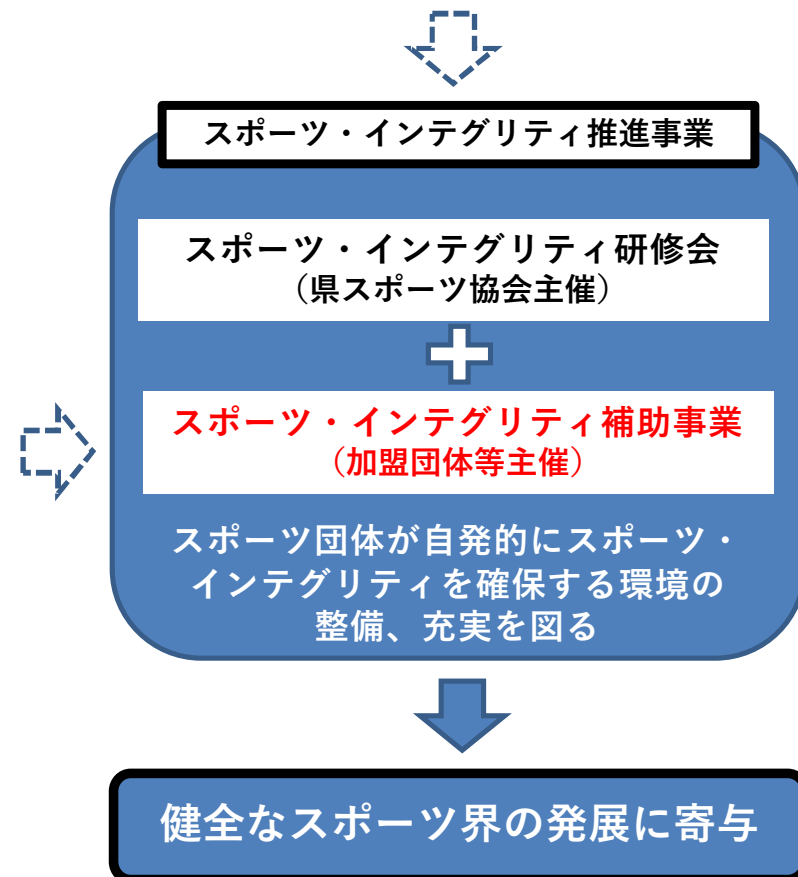
1 主事業等

スポーツ・インテグリティ推進事業の概念図



第2期スポーツ基本計画 2017年4月 スポーツ庁資料抜粋

新潟県スポーツの推進に関する条例



1 自主事業等

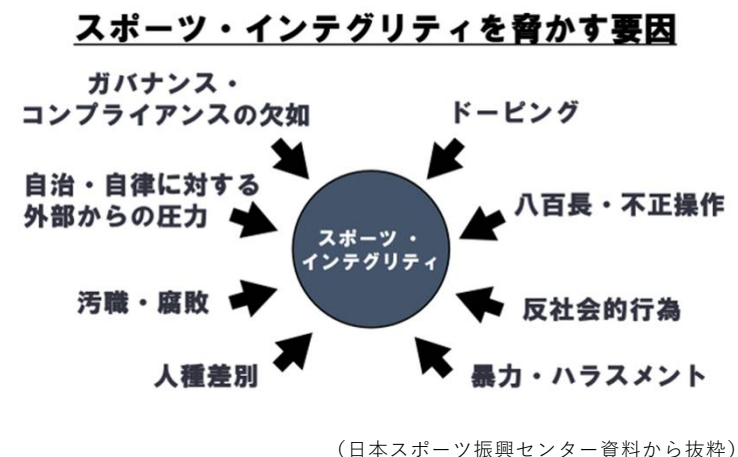
スポーツ・インテグリティ推進補助事業【R3～】

- 1 **加盟団体**（県競技団体、市町村スポーツ・体育協会、学校体育団体）、市町村スポーツ少年団及び県総合型地域スポーツクラブが実施する研修会、講習会等の研修事業を対象とします。
- 2 **1事業 5万円（上限）を補助します。（10分の10補助／自己負担金不要）**
- 3 予算の範囲内で補助します。（15件程度を想定）
- 4 講師謝金・旅費、会場使用料等を対象経費とします。
- 5 応募多数の場合は、審査のうえ補助先を決定します。
- 6 **本事業は3年間実施予定です。**

【R4事業の交付申請期限 5月20日（金）】

【事業実施イメージ（研修内容の例）】

- ・〇〇連盟指導者研修会（ハラスメントの防止）
- ・〇〇協会ドーピング防止研修会
- ・〇〇市スポーツ協会役員研修会（コンプライアンス研修）
- ・〇〇町スポーツ少年団指導者セミナー（指導者の資質向上）
- ・〇〇地域スポーツ協会連絡協議会研修会（個人情報保護など大会運営上の留意点）



1 自主事業等

公益財団法人 新潟県スポーツ協会
第9回スポーツ・インテグリティ研修会
(新潟県スポーツ少年団指導者研修会)

アンガーマネジメントが コーチと選手を救う！

- ◇ 「ついイラッとして…」感情に振り回されないための解決策とは…
- ◇ 怒りの対処法を理解できれば、あなたも選手にメンタル面の指導ができる！
- ◇ 言葉がけで選手のやる気が変わる！
- ◇ 「時代に取り残された」指導者にならないために！
- ◇ スポーツで青少年の成長を支援するために！

日時 令和4年 7月16日 (土) 10:00~12:00

方法 Web会議システム「Zoom」を用いたオンライン形式で実施 (Zoom入室開始 9:30頃から)

参加費 **無料**

対象 スポーツ指導者・コーチ、スポーツ少年団関係者、
スポーツ団体役員、保護者、学校・行政関係者など 定員：100名 (先着順)

申込 オンラインフォームにてお申込みください。 <https://forms.gle/ueYhsXCDX7bi4CUi8>
同じ団体・部署で複数人が参加される場合でもお一人ずつ
お申込みください。(同じメールアドレスで結構です)

締切 令和4年7月1日 (金) (定員に達した場合は締切前でも受付を終了します)



しぶくら たかゆき

講師 渋倉 崇行 氏



一般社団法人 スポーツフォーキッズジャパン代表
桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研究科教授 博士 (心理学)

専門：スポーツ心理学
経歴：野球
資格：メンタルトレーニング指導士・(公財)日本スポーツ協会コーチデベロッパー

日本大学文理学部体育学科卒業、新潟大学大学院教育学研究科修士、名古屋大学大学院教育学研究科博士 (後期) 課程修了、博士 (心理学)。新潟大学助手、新潟県立大学専任講師を経て、現在は桐蔭横浜大学大学院スポーツ科学研究科教授、一般社団法人スポーツフォーキッズジャパン代表。専門はスポーツ心理学、日本スポーツ心理学学会理事、日本スポーツ心理学学会認定スポーツメンタルトレーニング指導士、公益財団法人日本スポーツ協会共通科目コーチデベロッパー

県立新潟南高等学校3年時に第71回全国高等学校野球選手権大会 (夏の甲子園) に投手、四番打者として出場。平成元年俊秀選手 (県立日本大学生野球協会)。1972年1月生まれ、新潟県新潟市出身。

研究活動としては、指導者と部員との人間関係に大きな関心を持っている。具体的には、部員の心理的ストレス、ライフスキル、指導者の負担感、保護者の負担感に関する研究を行っている。近年は、青少年スポーツ指導者の指導力を育成する教育プログラムを作成し、実践している。また、フィリピン・セブ市の貧困児童に対してスポーツ教育を実施しているNPOの支援活動も行っており、主に教育プログラムの開発と指導者の教育を手がけている。「スポーツで世界の子どもに笑顔を届ける」をモットーとして、日々、研究と実践に励んでいる。平成26年度日本体育学会学会賞受賞 (一般社団法人日本体育学会)

公益財団法人 新潟県スポーツ協会
Niigata Sport Association

新潟県スポーツ少年団

オンラインフォーム以外での参加申し込み方法

オンラインフォームでの回答ができない場合は、下記を記載したメールを送信願います。

spo1@niigata-sports.or.jp

- ① メールアドレス
- ② 参加区分 (競技団体・チーム、スポーツ少年団、市町村スポーツ協会、総合型クラブ、その他)
- ③ 所属団体 (チーム) 名
- ④ 指導者・コーチ、選手、役員、保護者、その他の別 (回答したくない場合は「その他」を選択)
- ⑤ 氏名
- ⑥ 日中連絡がとれる連絡先TEL
- ⑦ 講師への質問 (任意)

※取得した個人情報は、研修会の運営及び主催者等が行うアンケート調査依頼にのみ使用します。



オンライン参加方法等

- 参加申込者には、後日 (開催数日前) Web会議システム (Zoom) のURLをメールにて送信します。特別な手続きは必要なく、URLをクリックするだけでセミナーに参加できます。
なお、マイク・カメラの有無に関わらず、参加 (視聴) できます。
- 当日の入室許可をスムーズに行うため、申し込み者の氏名を表示してください。
- 当日は、Zoomのチャット機能又はマイクにより質問することができます。
- 当日の映像・音声は、主催者において録画・録音しますので、ご了承ください。
- 参加された方は、参加者アンケート (オンラインフォーム) にご協力ください。
- 「オンライン研修会参加に関する注意・免責事項について」をご確認ください。



【オンライン研修会参加に関する注意・免責事項について】

- ・参加者は、自己の責任において参加するために必要なパソコン、通信機器、通信回線、その他の設備を準備し、管理するものとします。
- ・参加に必要な通信回線の利用料金は参加者が負担するものとします。
- ・安定した通信環境 (有線LAN、速度の速いWi-Fi等) での参加をお勧めします。
- ・参加者各自が最新のコンピュータウイルス対策等がなされている機器を使用してください。
- ・主催者は、参加によりコンピュータウイルスや第三者の妨害等行為による不可抗力によって生じた損害等の一切の責任を負いません。
- ・今回のオンライン研修会の録音・録画・撮影、スクリーンショットはご遠慮ください。

その他の連絡事項

- 研修の様子 (Zoomの画面等) の写真 (画像データ) について、新潟県及び公益財団法人新潟県スポーツ協会等における広報目的や報告等で使用する場合があります。(参加申込をいただいた時点で画像の利用について同意を得たものとみなします)
- 新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため、集合会場は設けませんのでご了承ください。
- やむを得ない事情により研修会を予告なしに中止又は延期する場合があります。その場合は、メールにてお知らせし、公益財団法人新潟県スポーツ協会のウェブサイトに掲載します。
<https://www.niigata-sports.or.jp/>

渋倉研究室からのお便り

- 桐蔭横浜大学渋倉研究室が行う「スポーツ指導におけるアンガーマネジメントに関する研究」へのアンケートにご協力をお願いします。スポーツ指導者のアンガーマネジメントスキル (怒りの感情のコントロール) の獲得に向けた研修プログラムづくりによって、青少年スポーツ指導における暴力行為の根絶推進に寄与するものです。(詳細はメールにてご案内いたします。)

お問い合わせ先 公益財団法人新潟県スポーツ協会 スポーツ推進課 セミナー担当
TEL025-287-8600 FAX025-287-8601 spo1@niigata-sports.or.jp

詳しくは本会ウェブサイトや送信済みのメールをご覧ください。

資料4-13

1 自主事業等

参考：スポーツ・インテグリティ推進事業の用語解説等

用 語	解 説
スポーツ・インテグリティ	スポーツにおけるインテグリティ（誠実性・健全性・高潔性）とは、必ずしも明確に定義されているとはいえないが、ドーピング、八百長、違法賭博、暴力、ハラスメント、差別、団体ガバナンスの欠如等の不正が無い状態であり、スポーツに携わる者が自らの規範意識に基づいて誠実に行動することにより実現されるものとして、国際的に重視されている概念である。 （国の第2期スポーツ基本計画から抜粋）
ガバナンス	団体統治・団体統制 組織を運営する方針やルールを決め、それらを組織内にあまねく行き渡らせて実行することで、適切かつ効率的な組織運営を行うこと （令和2年10月20日 スポーツ庁参事官（民間スポーツ担当）付 白川由梨氏 資料抜粋）
コンプライアンス	法令遵守 法令や内部規則を遵守すること、社会から求められる倫理・規範を守ること（同上）
スポーツ団体ガバナンスコード	スポーツの価値を毀損しかねない不祥事の発生を防ぎ、また、スポーツの価値を一層高めていくため、スポーツの普及・振興の重要な担い手となっているスポーツ団体の適正なガバナンスを確保することが必要不可欠です。 このような問題意識から、スポーツ庁では、平成30年12月に策定した「スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン」において、スポーツ団体が適切な組織運営を行うための原則・規範としてスポーツ団体ガバナンスコードを策定することとし、スポーツ審議会における審議を経た上で、中央競技団体（NF）向け及び一般スポーツ団体向けのガバナンスコードを策定いたしました。 （スポーツ庁ウェブサイトから抜粋）
スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞	「スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞」は、中央競技団体以外のスポーツ団体が適切な組織運営を行う上での原則・規範を示すものです。各スポーツ団体においては、令和3年度以降、その遵守状況について、本ガバナンスコード別添のセルフチェックシートを活用していただき、自主的に自己説明・公表を行っていただきますよう、お願いします。 （スポーツ庁ウェブサイトから抜粋）

注記：「スポーツ・インテグリティ推進補助事業」にあたって、主な用語について（公財）新潟県スポーツ協会事務局が関連資料から抜粋したものであり、上記以外にも様々な解釈はある。

2 日本スポーツ協会等の関連事業

3 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業の実施（R3～）

行政・スポーツ関係団体による連絡会議を開催するとともに、休日の運動部活動の地域移行などの情報・課題の共有や地域におけるスポーツ推進体制の充実を促進する「地域ミーティング」を実施する。また、総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度運営を始めとする中間支援組織としての業務も実施する。

【スポーツ推進のための地域ミーティングの開催】



2 日本スポーツ協会等の関連事業

スポーツ推進のための地域ミーティング R3 実施概要

市町村名	運営団体	開催日時	会場	参加者数	第1部（共通内容以外）	第2部
阿賀野市	NPO法人阿賀野市総合型クラブ	11月7日（日） 13:00～17:15	笹神体育館（30名）	45		第2部 阿賀野市で生涯にわたるスポーツ環境の整備に向けて ○コーディネーター兼事例発表者 NPO法人希楽々 理事長 渡邊優子 様 「多世代を対象とした地域・企業と連携した事業展開」（小学校への指導者派遣、企業（イオン等）との連携など） ○グループワーク（テーマ） 多世代のスポーツ活動に対して各スポーツ団体や行政・企業等が連携・協力できること～それぞれの役割とスポーツ資源の活用～
十日町市	NPO法人ネージュスポーツクラブ	11月14日（日） 10:00～15:15	中里体育館（中里アリーナ）（30名）	52	○現在の十日町市の進捗状況 十日町市教育委員会学校教育課指導主事 十日町市の中学校部活動の在り方検討委員会事務局 郡司哲朗 様 ○陸上競技の取組 十日町アスレチッククラブ代表 山本秋彦 様 ○野球の取組 妻有Nexus代表・監督 真霜 崇 様 ○サッカークラブの取組 （一社）ARTISTA代表・監督 西野雄二 様	第2部 スポーツによる地域活性化について ○「スポーツと地域活性化の好循環創出事業」の取組と今後の展望について NPO法人ネージュスポーツクラブ事務局長 関口芳平 様 ○十日町市の現状と課題解決のポイントについて 十日町市スポーツコミッション幹事長 福崎勝幸 様
津南町	NPO法人T a p	11月27日（土） 10:00～15:15	津南町総合センター（30名）	44	○津南町における学校部活動の現状と連携（事例発表） 津南町教育委員会 管理指導主事 滝沢甲子夫 様 津南町ジュニアバドミントンスポーツ少年団指導者 武田淳次 様	第2部 これからの地域スポーツを考え、今、私たちができること ○グループワーク（テーマ） 地域スポーツ関係者が一堂に集うことでそれぞれの現状や課題、問題点を共有し、「これからの地域スポーツのあり方とは？」、そして今、私たちが「行動するべきこととは？」を問う機会とする ○コーディネーター NPO法人T a p 事務局長 江村大輔 様 ○アドバイザー 西原康行 様 志田哲也 様 渡邊優子 様（公財）新潟県スポーツ協会専務理事 細貝和司
上越市	上越S C ネット	11月28日（日） 10:00～15:15	ユートピアくびき希望館（150名）	94		第2部 三和中学校とNPO法人さんわスポーツクラブとの連携事例 上越地区中学校体育連盟会長 上越市立三和中学校 校長 石野秋広 様 NPO法人さんわスポーツクラブクラブマネージャー 松井和代 様
				（ ）は募集定員	235 名（講師、事例発表者、参加者、運営団体関係者、会議委員、県行政、主催者の総数）	

< 4 会場共通 >

第1部 休日の部活動の段階的な地域移行について

- コーディネーター
新潟医療福祉大学 教授（健康科学部長・健康スポーツ学科長） 西原康行 様
- 「休日の部活動の地域移行について」
新潟県教育庁保健体育課学校体育指導係 副参事・係長 志田哲也 様
- 「融合型部活動への仕掛け～希楽々の取組～」
NPO法人希楽々 理事長 渡邊優子 様

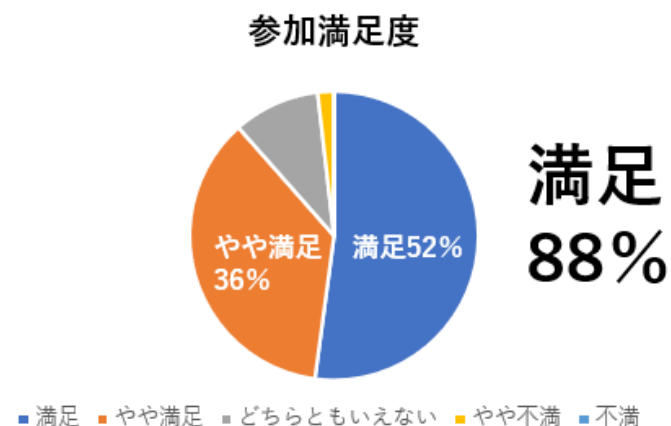
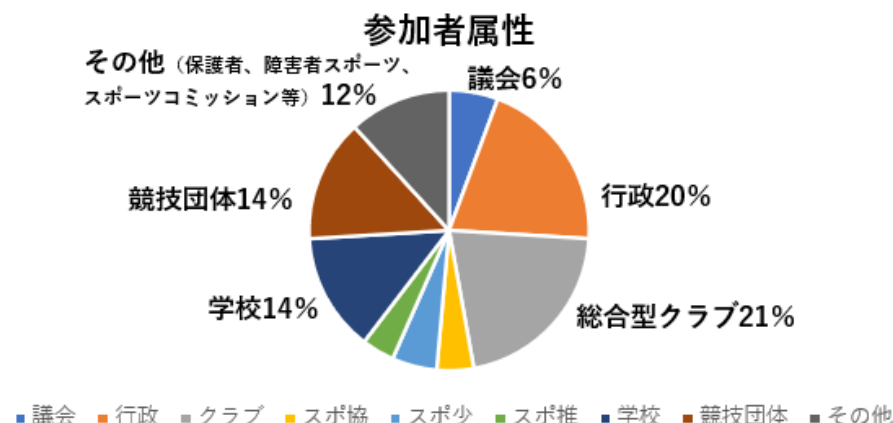
第3部 情報提供等

- ①総合型クラブの登録・認証制度とは
- ②にいがたヘルス＆スポーツマイレージ事業について
- ③第2回地域スポーツ人材養成セミナーについて
スポーツで開発？ ～SDGsを理解して自分ゴト化へ～
- ④「スポーツ安全保険」について

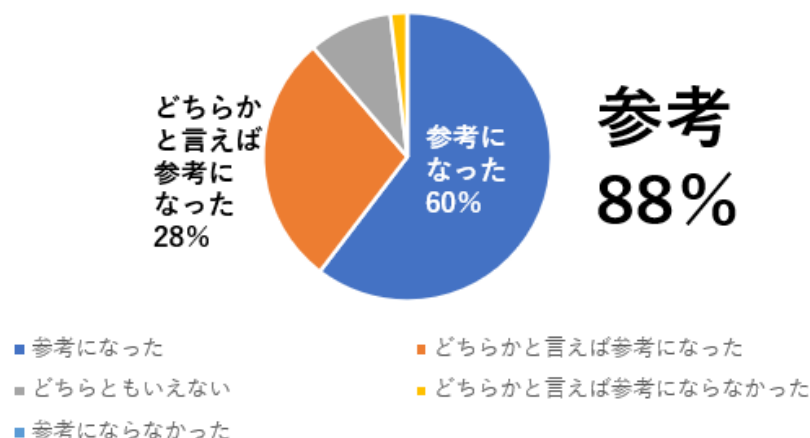
2 日本スポーツ協会等の関連事業

スポーツ推進のための地域ミーティング R3 実施概要

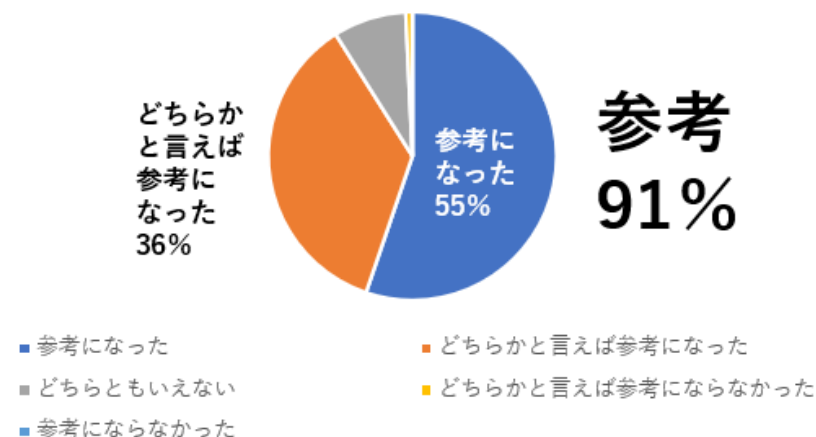
【地域ミーティングのアンケート結果（抜粋）】



休日の部活動の段階的な地域移行については参考になりましたか



情報提供等については参考になりましたか



2 日本スポーツ協会等の関連事業

日本スポーツマスターズ参加業務【当該競技団体と連携】

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として岡山県において開催される「日本スポーツマスターズ2022岩手大会」（実施競技13競技）への参加業務を行う。

会 期：令和4年9月23日～26日（中心会期）

開催地：岩手県

実施競技：水泳、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、
自転車競技、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、
バドミントン、空手道、ボウリング、ゴルフ

スポーツ庁、日本スポーツ協会、日本スポーツ振興センター等の各種
情報の発信・提供【随時】

3 新潟県委託事業

- 1 スポーツ情報の収集・提供
 - ① 「新潟県広域スポーツセンター」ウェブサイトの運営
 - ② 「新潟県スポーツの現状」の作成・公開
- 2 総合型地域スポーツクラブ育成事業
 - ① 総合型地域スポーツクラブ研修会
 - ② 総合型地域スポーツクラブ経営サポート事業 など



3 新潟県委託事業

3 第3期スポーツと地域活性化の好循環創出事業【R4～6】（新規募集）

スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくり等への支援を通じ、スポーツによる地域活性化を推進することを目的とする。

<第2期指定団体>

団体名	事業概要
NPO法人 ネージュ スポーツ クラブ	ユニバーサルスポーツによる活用ある「共生社会づくり」の実現 「ユニバーサルスポーツによる活気ある共生社会づくり」を掲げ、ユニバーサルスポーツによる「市民の健康づくり推進」「共生社会づくりを推進する人材育成」「交流人口づくりと経済効果」を目指して取り組んだ。 

3 新潟県委託事業

団体名	事業概要
松之山スキー協会	雪国に「住んで良し、訪れて良し」のSNOW SPORTSの取組 雪国に「住んで良し、訪れて良し」のSNOW SPORTSの取組を目指し、「まつのやま学園（小中一貫校）」の取り組むスノースポーツ授業を土台として、豪雪地帯のマイナスイメージをスノースポーツの魅力でプラスに転じ、世界的には価値のある豪雪地帯の天然雪の恵みを松之山地区のアドバンテージとして活かし、地域プライドを醸成して観光交流、関係交流（雪里留学等）によって松之山ならではの地域産業と地域教育の活性化、地元の競技者育成を目指して取り組んだ。  
南魚沼市	自転車によるまちづくり「RIDE ON 南魚沼プロジェクト」の推進 自転車によるまちづくり「RIDE ON 南魚沼プロジェクト」を掲げ、自転車を軸に地域資源を活用し、南魚沼市の課題にみんなで挑戦し、スポーツの力で地域を元気にすることを目指して取り組んだ。  

3 新潟県委託事業

4 地域スポーツ人材養成事業

持続可能で健全なスポーツ団体の運営等を支える人材育成や人材の高度化を行うとともに地域スポーツ関係者の交流促進を図り、住民等が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備を進めることを目的としてセミナーを開催。

開催期間	演 題 等	講 師
【令和2年度】 12月10日(木) 12月23日(水)	「スポーツ活性化のために今活用すべきSNSセミナー最新版」 (12月10日 基礎編) (12月23日 応用編)	緒方星南 グローバルマーケティング(株)コンサルティング グ部コンサルタント
3月10日(水)	「スポーツのチカラで にいがたづくり ～梓から飛び越える発想の仕方～」	小山 直久 中小企業診断士 ビジネスコーチOffice Koyama 代表
3月17日(水)	「スポーツ団体における後継者育成の必要性 とは」	土田克則 中小企業診断士 事業承継士 事業承継プラン ナー (株)にいがた事業承継サポート室取締役
【令和3年度】 10月13日(水)	「非営利スポーツ団体のマネジメントと地域 経済分析システム (RESAS) の活用につい て」	平野 康晴 ひらの経営支援事務所代表／中小企業診断士
12月8日(水)	「スポーツで開発？ ～SDGを理解して自分ゴト化へ～」	勝身 麻美 長岡技術科学大学国際産学連携センターUEA 兼SDGs推進室員
2月2日(水)	「伝わる広報」－ 「伝える広報」から「伝わる広報」へ－	杉山 秀人 (株)電通東日本第4 ビジネスプロデュース局新 潟支社シニア・スーパーバイザー (前新潟県 知事政策局広報監)

(すべてオンラインにて開催)

3 新潟県委託事業

5 広域連携型総合型クラブ健康づくり推進事業【R3～4】 総合型クラブを対象に実施する。

主催者と 連携先クラブ	事業名	開催期日	主な内容
上越市総合型地域スポーツクラブネットワーク（上越SCネット加盟各クラブ）	美人林日帰りウォークと天然記念物虫川大スギ探勝	9月23日	十日町市松之山地内の美人林でブナ林をウォーキング。また、上越市浦川原区虫川地内の天然記念物虫川大スギを探勝するなど、「こころ」と「からだ」の健康づくりの機会としました。
NPO法人希楽々（南魚スポーツパラダイス）	こいっしゃ村上Welcome 南魚沼スケートボーダーの旅	11月13日	子どもたちが国内有数の屋内施設「村上市スケートパーク」でレベルに応じて一流コーチの指導を受け、親子で海鮮処（番屋）での昼食や瀬波温泉も堪能しました。
長岡蒼柴スポーツクラブ（長岡市内各クラブ）	長岡スキーツアー in 舞子スノーリゾート	1月16日	インストラクターからレベルに応じたスキーレッスンを受け、冬季の運動習慣と家族でスキーを楽しむきっかけづくりをしました。



3 新潟県委託事業

幼児期からの運動習慣アップのための支援事業

県内各地で誰もが幼児期に楽しく体を動かす「運動遊び」を経験でき、発達段階に応じた適切な援助を受けることができる環境の整備を図るため、公開保育形式によるモデル研修会を開催するとともに、保育者、スポーツ指導者をはじめ、子どもに関わる関係者が「運動遊び」に関する日頃の取組や子どもの援助方法等に関する意見交換や資質向上を図るための普及啓発セミナーを開催する。

また、地域における専門人材の養成を推進する。

1 モデル研修会・普及啓発セミナーの開催

- ・県内3会場で実施予定

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から当該市町村の保育士等に限定する場合があります。

2 地域専門人材養成研修の実施【市町村スポーツ（体育）協会等に通知】

- ・令和2年度から新規養成に着手（総合型クラブスタッフ等の11名を修了）
- ・10名程度を養成予定
- ・幼児期における運動遊びの指導経験者や一定の資格者を対象に募集



4 スポーツ少年団事業

区 分	R2	R3	増減
市町村	29	28	△1
単位スポーツ少年団	565団	553団	△12団
団員	9,845名	10,181名	336名
指導者（R2からJSPO公認指導者資格の保有者のみ指導者登録可）	1,922名	1,756名	△166名
単位団役員・スタッフ（R2からの新設区分）	828名	906名	78名
県、市町村役員・スタッフ	218名	194名	△24名
登録者数合計	12,813名	13,037名	224名

競 技	団数	%
軟式野球	145	26.2
空手道	55	9.9
バスケットボール・ミニバスケットボール	54	9.8
サッカー	52	9.4
剣道	48	8.7
バレーボール・ミニバレーボール	44	8.0
柔道	25	4.5
バドミントン	23	4.2
少林寺拳法	19	3.4
複合種目※	14	2.5
ソフトテニス	13	2.4
卓球	11	2.0
その他（スキー、水泳、陸上など 19 競技）	50	9.0
合 計	553	100

※複合種目とは、数種類のスポーツを並行して行ったり、季節ごとに変えたりして活動を行う形態のことです。

4 スポーツ少年団事業

市町村スポーツ少年団等の協力を得ながら様々な事業を実施しています。

- ① 県スポ少競技別交流大会等の開催
- ② 北信越ブロック・全国大会への参加及び開催
- ③ **指導者（スタートコーチ）養成及び研修の実施【R3～】**

期 日	グループワーク実施日時	定 員	受講料等
10月8日（土）	午前の部 10：00～12：00 午後の部 14：30～16：30 ※完全オンライン（Zoom）実施	各回80名 ×6回＝480 名	7,150円 （税込み）
11月6日（日）			
12月4日（日）			

- ④ スポ少リーダーの養成及び育成
- ⑤ 国際交流（日独等）の実施 → R4日独交流 受入中止、派遣オンライン実施
- ⑥ 表彰、にいがたスポ少ニューズレター発行、社会貢献活動の実施、
他団体との連携促進
- ⑦ アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）の推進
- ⑧ **第45回全国スポ少剣道交流大会開催【新規】（R5.3.25～27 謙信公武道館）**
- ⑨ **新潟県スポーツ少年団専門部等での「スポ少らしさ」の検討【新規】**

※登録システムの手続きに関してはコールセンターへ TEL03-6434-1385

スポーツ推進課の『まとめ』と『お願い』

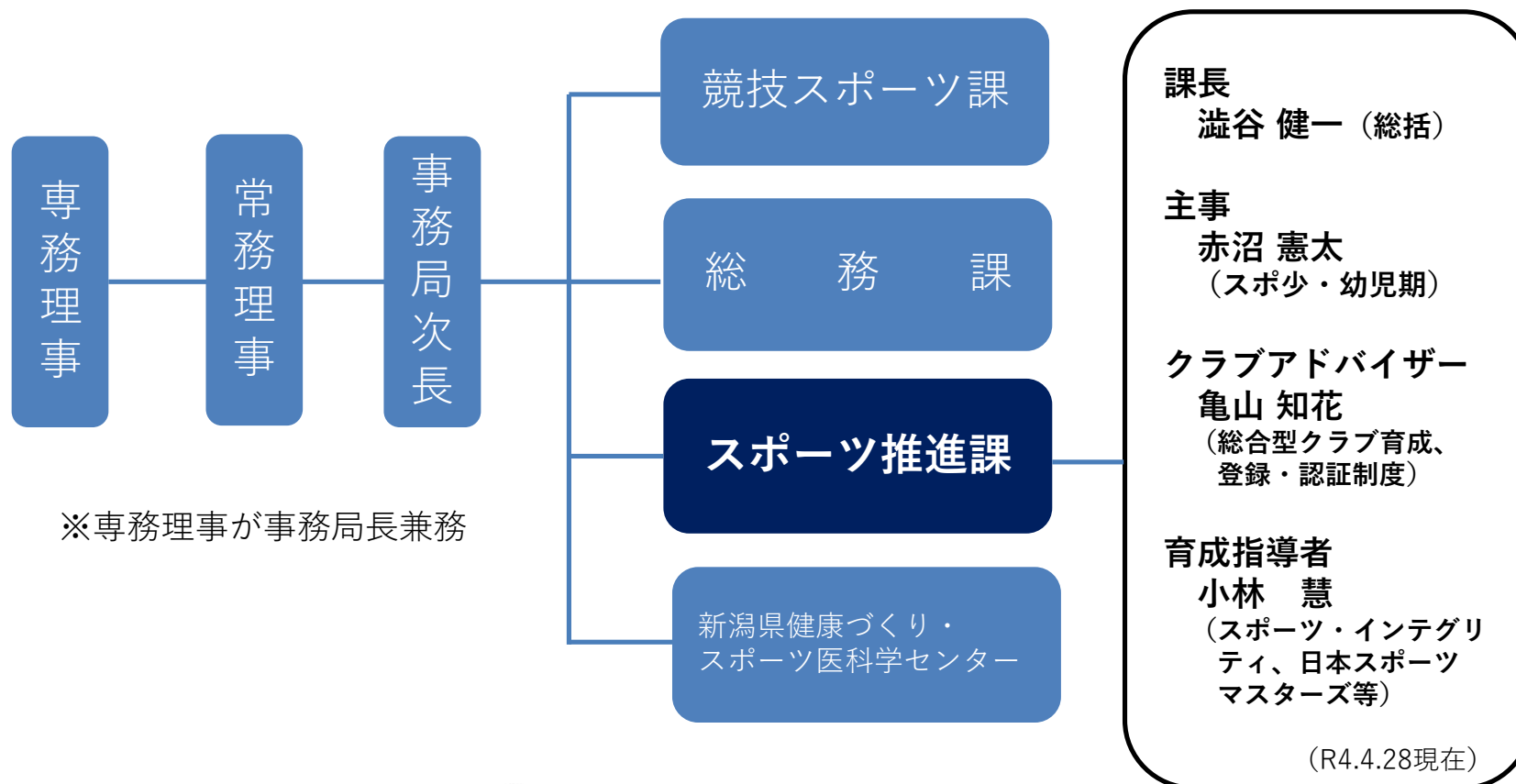
全国的な動向や新潟県の現状を踏まえつつ、加盟団体を始め、各種団体との連携・協働を図りながら、地域スポーツ推進環境の整備を進めていきますので、事業推進にあたり、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いします。

項目	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
スポーツ基本計画(国)	第2期(H29～R3)		第3期(R4～R8)	
にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト	国庫補助事業等の実施 企画検討		事業実施	
スポーツ・インテグリティの推進	研修会実施 補助事業実施(3年間予定)			
総合型クラブ登録・認証制度	準備期間		制度運用	
学校の働き方改革を踏まえた部活動改革	国・県での実践研究の実施など			休日の部活動の段階的な地域移行
スポーツ少年団	(日本スポ少)	緊急対策プロジェクト【改革プラン2022】		第11次育成5か年計画(アクションプラン2023－2027)
	(県スポ少)	経営検討会議	検討・実践	

(主な計画・取組に関する年次的な動向)

(公財) 新潟県スポーツ協会事務局組織

(スポーツ推進課ベース)



医学・科学・指導の面から総合的に支援します

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

Niigata Institute for Health and Sports Medicine



指定管理者：公益財団法人新潟県スポーツ協会

- ◎ 競技水準の向上を目指す競技者とその指導者を対象に、スポーツ障害への適切な対応及び科学的トレーニングをサポートし、その普及と定着を図ることにより新潟県のスポーツ競技水準向上に寄与する。
- ◎ 生活習慣病、メタリックシンドローム、ロコモティブシンドローム等の予防と改善を目的に、新潟県民の健康づくりに関する実践的な指導を行い、効果的な指導方法を蓄積、広く還元することで、県民の健康寿命の延伸を目指す。

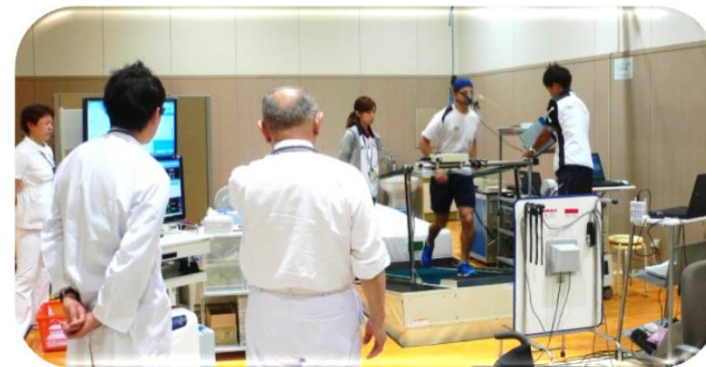
新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター事業

- 1 競技水準向上支援**
- 2 健康づくり実践指導**
- 3 診療所**
- 4 施設利用**
- 5 その他、賑わい創出のための自主事業**

競技水準向上支援

体力測定

- アスリートを対象に医学（安全）検査と各種パワー測定を行います。
- 目的に応じた各種コースがあります。



スポーツ動作分析

- 競技スポーツ中の動作を分析します。
- 出張対応も可能です。



競技力向上相談

- 選手や指導者向けにトレーニング指導や栄養サポート、メンタルサポートなどを行います。



令和4年度スポーツ医科学サポート補助事業について

- 競技力向上事業の体力測定・動作分析・競技力向上相談（トレーニング指導・メンタルサポート・栄養サポート）について、利用料金のおよそ1割負担で利用できます。9割は県が負担します。

➤ 補助対象者

- オリンピックアスリート夢チャレンジ事業指定選手
- 国民体育大会正式競技選手（候補選手を含む。）
- 新潟ジュニア育成事業対象選手
- 新潟県県民生活・環境部スポーツ課指定 地域ジュニア競技スポーツクラブ所属選手
- その他、本会が特に認める選手



- 詳細は、令和4年度スポーツ医科学サポート補助事業要項等をご確認ください。
特に、体力測定利用曜日の火・木・土曜日（8時45分集合）のうち、火・木曜に可能な選手もご紹介ください。

問合せ

新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター 競技力向上事業担当 宛

〒950-0933 新潟市中央区清五郎67番地12

TEL：025 - 287 - 8806

FAX：025 - 287 - 8807

代表E-mail：info@ken-supo.jp

健康づくり支援

生活習慣しっかり改善コース

- 3か月間、週1回通って生活習慣の改善を目指します。



親子コース

- 親子の絆を深めながら一緒に健康づくりを目指します。



指導者向け研修

- 健康づくりの方法を学びたい・体験したい指導者向け
- 個人・団体問わずに参加可能です。
- 各種コースに参加体験できます。



外来診療（内科・整形外科・リハビリテーション科）

一般内科

- 生活習慣病、メタボリックシンドロームの診療と生活指導

呼吸器内科

- アスリートの運動誘発喘息の精査と治療

整形外科・リハビリテーション科

- 運動器の障害、ロコモティブシンドロームの診療とリハビリ指導

センター事業全体の安全管理を担い、競技水準向上事業や健康づくり実践指導事業については、医師が利用者を直接支援します。

施設利用

フィットネスホール

- 有酸素運動・各種筋トレマシン・フリーウエイトを備え、広い空間でトレーニングができます。



研修室等

- プロジェクター・PC貸出可・Free Wi-Fiを完備



研修室は、利用規模に応じて、小・中・大研修室があります。



栄養実習室



フィットネスホール中央フロア

その他

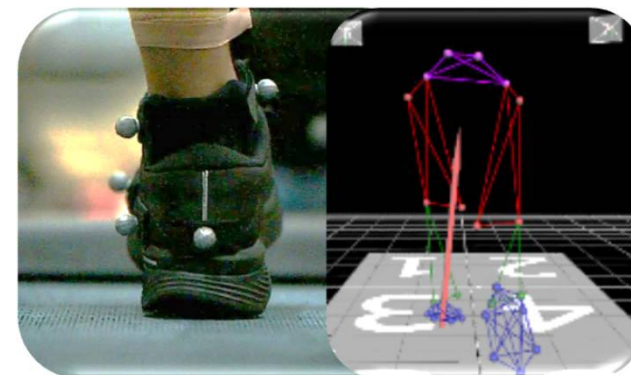
個別プログラムサービス

- 健康づくりのためのトレーニングを自分のペースで実践します。
- 体組成チェックや体力測定、ストレッチ指導、栄養指導などの各種メニューがあります。



県民講座

- 健康やスポーツに関する各種講座、運動教室を開催します。



その他動作分析

- 歩行やジョギングなどの日常動作を分析します。
- 研究・開発を目的とした利用もできます。



ケアコンディショニングサポート

- 児童・生徒を対象に「食事の基本」「ケガ予防のトレーニング」の講習会や体力などの簡易チェックを行います。